

ナナップ 農業農村アプレンティスシッププログラム(NNAP)

南丹管内には、多くの土地改良施設(頭首工・ため池や農道など)があります。また、現在も、ほ場整備工事、農道工事、ため池工事、頭首工改修工事などが実施中です。

京都府立農芸高等学校環境緑地科の生徒『弟子』を対象に、これらの施設や現場を教材として、地域の土地改良区の役員さんや京都府の農業土木技術職員等『親方』が、現場であるいは教室で、土地改良施設の仕組みや**ほんまもん**の技術を伝授します。

アプレンティスシップとは「^{とてい}徒弟制度」のことで、中世ヨーロッパに広く普及した職人の組合「ギルド」で用いられていた職人養成制度です。農芸高校の生徒をいわば弟子と見立て、改良区の役員や府の現地職員が親方役として、現場の技を伝えます。

